

1-4

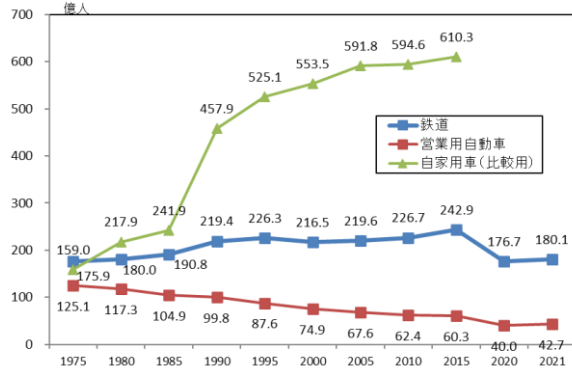
公共交通の現状

流通経済大学教授
板谷 和也

2021年度の公共交通は、前年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいものの、前年度に比べると利用が戻ってきた。ただ、近年の全国的な輸送需要の減少傾向は変わっていない。三大都市圏では交通分担率の観点では鉄道の利用率が上昇しているものの、その鉄道の混雑率は低下傾向が続く、中京圏・関西圏ではコロナ以前からラッシュ時以外は混雑なく快適に乗車できる状態となりつつある。バス事業は採算が取れない状況が続く中、コロナ禍で採算性が大きく悪化している。鉄道の廃止事例が増加する一方、コミュニティバスやデマンド交通の導入事例は増加傾向にある。事故に関しては全体としての公共交通の安全性は保たれている。

図1 鉄道と営業用自動車の輸送人員

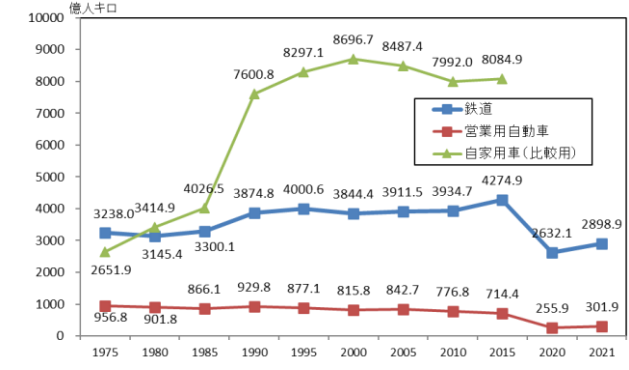
■2021年度は前年度より若干の増加がみられた。



出所：自動車輸送統計年報 令和3年度版・過年度版（乗用車・バス）、鉄道輸送統計年報 令和2年度版・過年度版（鉄道）

図2 鉄道と営業用自動車の輸送人キロ

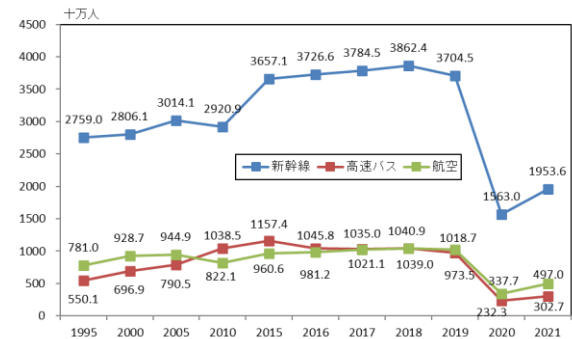
■2021年度は前年度比およそ1割の増加となった。



出所：自動車輸送統計年報 令和3年度版・過年度版（乗用車・バス）、鉄道輸送統計年報 令和3年度版・過年度版（鉄道）

図3 都市間各交通機関の輸送人員

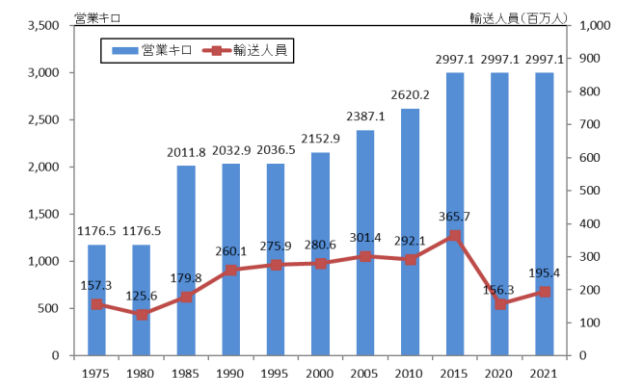
■2021年度は鉄道・航空・高速バスのいずれも前年度比で増加に転じた。



出所：鉄道輸送統計年報 令和3年度版・過年度版、令和5（2022）年版交通政策白書、航空輸送統計年報 令和3年分・過去分

図4 新幹線の営業キロと輸送人員

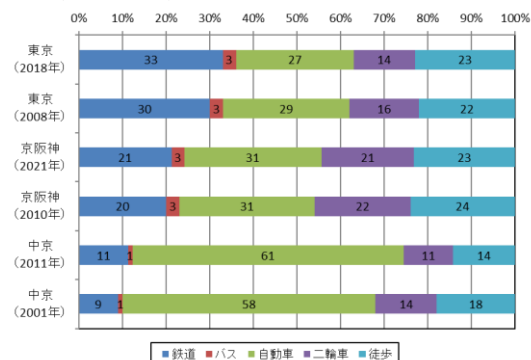
■2021年度の新幹線輸送人員は増加に転じた。



出所：（1985年以前）数字でみる鉄道2008（1990年以降）鉄道輸送統計年報 令和3年度版・過年度版

図5 三大都市圏の代表交通手段分担率

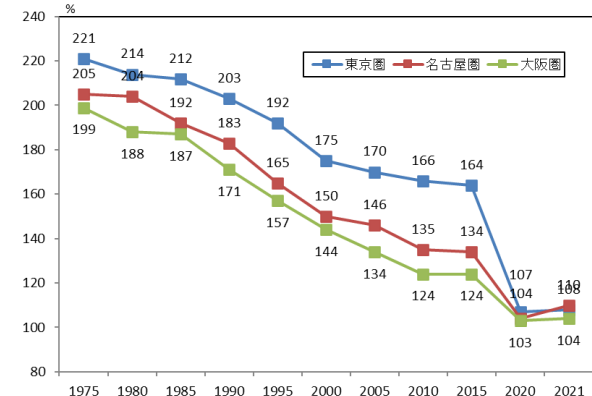
■各都市圏ともに鉄道利用率が高まり、自動車利用率は低下する傾向にある。



出所：第6回東京都市圏パーソントリップ調査、第6回近畿都市圏パーソントリップ調査中間報告、第5回中京都市圏パーソントリップ調査結果

図6 三大都市圏の鉄道混雑率

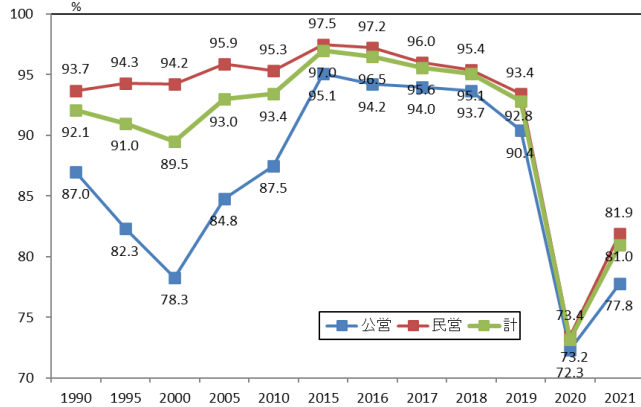
■2020年度に大きく低下した鉄道混雑率は、2021年度もほとんど変化していない。



出所：数字でみる鉄道2022

図7 バス事業者の収支状況

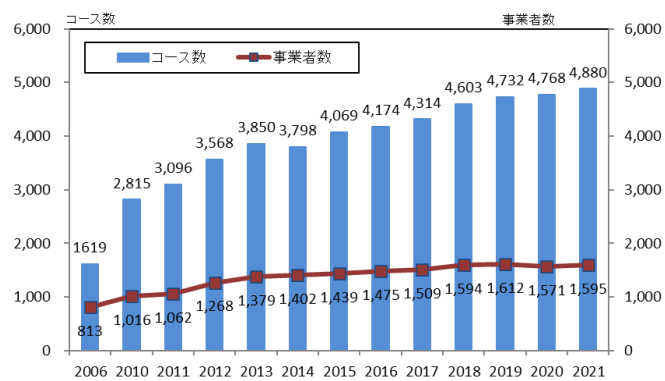
■ここ20年、バス事業者全体で収支率が100を超えたことがない。2020年度に大きく悪化したのが、2021年度は改善した。[収支率=(経常収入/経常支出)×100]



出所：令和3年度乗合バス事業の収支状況について
(1990-2005年度分は過去資料より)

図9 デマンド型乗合タクシー導入数

■近年、デマンド型乗合タクシーを導入する自治体が増加傾向にあり、全国コース数合計でみると全市町村数の3倍近い4880コースとなっている。

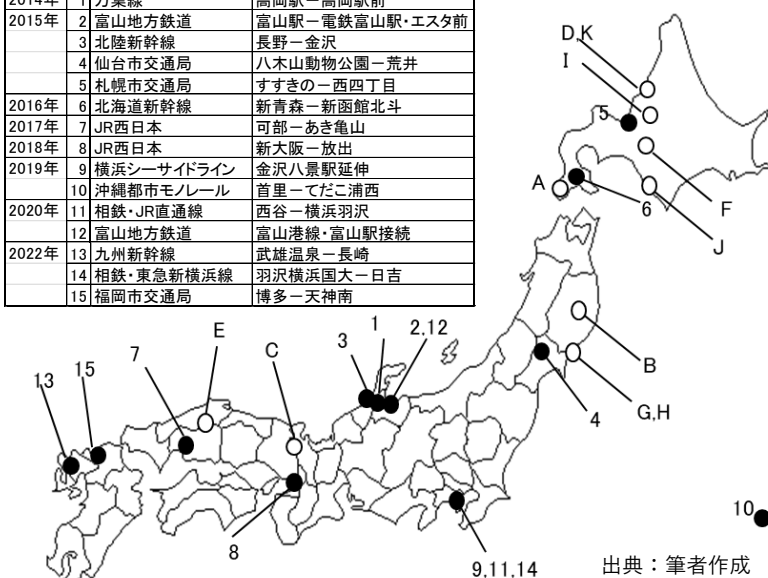


出所：令和5(2023)年版交通政策白書

図11 主要な鉄軌道路線の新設・廃止状況

2014年～2023年の事例を抜粋 新設：● 廃止：○

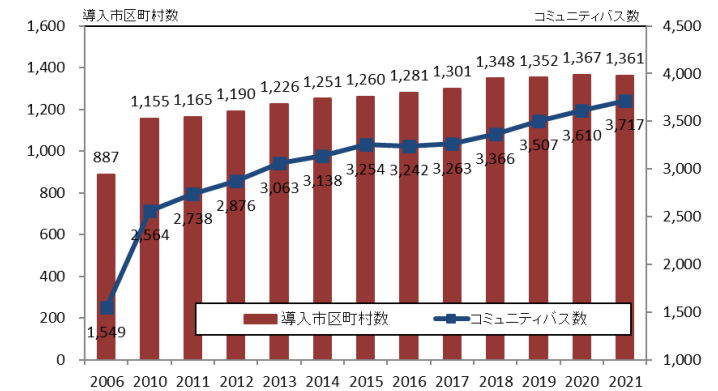
No	新設(●)
2014年 1	万葉線 高岡駅～高岡駅前
2015年 2	富山地方鉄道 富山駅～電鉄富山駅・エスタ前
3	北陸新幹線 長野～金沢
4	仙台市交通局 八木山動物公園～荒井
5	札幌市交通局 すずきの～西四丁目
2016年 6	北海道新幹線 新青森～新函館北斗
2017年 7	JR西日本 可部～あき亀山
2018年 8	JR西日本 新大阪～放出
2019年 9	横浜シーサイドライン 金沢八景駅延伸
10	沖縄都市モノレール 首里～てだこ浦西
2020年 11	相鉄・JR直通線 西谷～横浜羽沢
12	富山地方鉄道 富山港線～富山駅接続
2022年 13	九州新幹線 武雄温泉～長崎
14	相鉄・東急新横浜線 羽沢横浜国大～日吉
15	福岡市交通局 博多～天神南



出典：筆者作成

図8 コミュニティバス導入市町村数

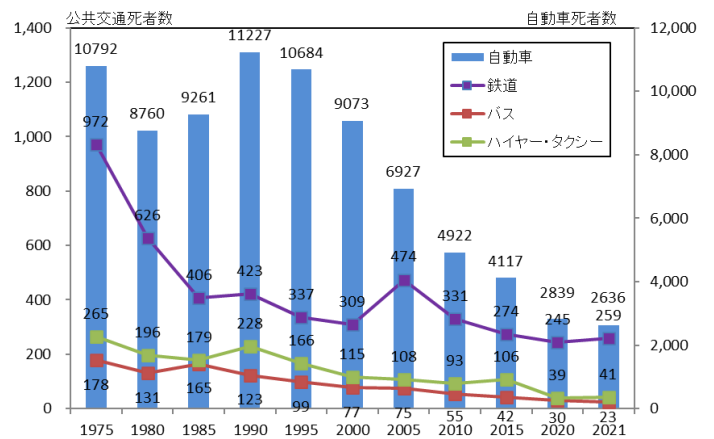
■乗合バス事業者が撤退した地域を中心にコミュニティバス導入市町村数は増加を続けている。



出所：令和5(2023)年版交通政策白書

図10 公共交通の事故死者数

■特にバスやハイヤー・タクシーにおける事故死者数は減少を続けており、自動車事故死者数(2021年度：2,636人)と比べると公共交通の安全さは際立っている。



出所：(鉄道・自動車) 令和5年版 交通安全白書、
(バス・ハイヤー・タクシー) 自動車運送事業用自動車事故統計年報(令和3年)

■北陸地方における新設事例と、北海道・東北における廃止事例が多い。なお2017年のJR西日本可部線の事例は一度廃止された路線の復活事例である。また2020年のJR東日本大船渡線・気仙沼線は、震災復興BRTが既に運行している中、正式に廃止届が提出されたものである。

No	廃止(○)
2014年 A	JR北海道 木古内～江差
B	JR東日本 茂市～岩泉
2016年 C	阪堺電気軌道 住吉～住吉公園
D	JR北海道 留萌～増毛
2018年 E	JR西日本 江津～三次
2019年 F	JR北海道 新夕張～夕張
2020年 G	JR東日本 気仙沼～盛
H	JR東日本 柳津～気仙沼
I	JR北海道 北海道医療大学～新十津川
2021年 J	JR北海道 鶴川～様似
2023年 K	JR北海道 石狩沼田～留萌